

## 本学情報センターで開発した「クラフトAI」が、eラーニングアワードの「文部科学大臣賞」および 1EdTech Japan の「特別賞」をダブル受賞しました

2024年11月5日(火)に御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターで「eラーニングアワードフォーラム2024」が開催され、本学情報センターが開発した「クラフトAI」が「文部科学大臣賞」を受賞しました。クラフトAIは、本学情報センターが独自に開発した個性的な人工知能で、講義映像を与えるだけでクラフトAIがオンデマンド教材を生成するサービスです。また、学生の学修をサポートするAIエージェントも創り出し、教員が講義中に発話した内容をもとに、学生の質問に対応したり、回答の参考になる講義映像をピンポイントで見つけ出します。さらに、英語など他(多)言語の発話映像へ変換し、教育の国際化・多様化にも対応させるなど、オンデマンド教材の機能は今も進化を続けています。本サービスは、1EdTech Japan Societyからも、生成AIをいち早く製品に生かし、詳細な実証研究を実施した点が評価され、1EdTech Japan の「特別賞」も同時に受賞しました。



クラフトAIが自動生成したオンデマンド教材のサンプルを、本学DX推進計画サイトからご体験いただけます。 [dx.hoku-iryu-u.ac.jp](http://dx.hoku-iryu-u.ac.jp)

## 第19回医療系eラーニング全国交流会年次大会において「医療系大学でのデータサイエンス教育を支えるクラフトAI」が大会奨励賞を受賞しました

2024年12月21日(土)～22日(日)に開催された、第19回医療系eラーニング全国交流会(会長 木下淳博 東京科学大学 Science Tokyo教授)の年次大会において、「医療系大学でのデータサイエンス教育を支えるクラフトAI」(二瓶裕之教授、西牧可織講師、高橋祐司講師、米田龍大助教)が大会奨励賞を受賞しました。本学情報センターで開発を進めているクラフトAIによる医療系大学でのデータサイエンス教育の手法が評価されました。クラフトAIは、授業の録画映像から自動的にオンデマンド教材を生成し、教員の発話については、英語をはじめ様々な言語に切り替えて視聴できるようにするなど、教育の国際化や学生の多様化に応えることを目指しています。



## 本学心理学部 西牧可織講師が日本リメディアル教育学会第19回全国大会発表優秀賞を受賞しました

2024年9月3日(火)に実践女子大学で第19回日本リメディアル教育学会が開催され、心理学部の西牧可織講師が大会発表優秀賞を受賞しました。心理学部で開講している「情報処理演習II」と「基礎統計学」の2科目について、高等学校で新設された「情報I・II」を踏まえ、pythonを活用したシミュレーションにより学ぶという先駆的な授業設計が評価されました。また、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを構成する「情報科学」や「医療データサイエンス入門I・II」につながる授業内容であることも評価されました。日本リメディアル教育学会は、「リメディアル教育＝学習・学修支援」という共通意識を持ち、'student success'を意識した活動を展開することを目指して2005年に設立された学会です。



### EDITOR'S NOTE

今年度の国家試験も終わり卒業生が新たに社会に旅立っていきます。ほっと一息つく間もなく、すぐに次の年度の国家試験対策が始まります。1年間はあっという間です。歳を取るごとに時間の経過が早くなるとはよく聞きますが、本当にそう思います。シャンプーより洗顏料の使用量が増えていく気がし、階段を1階分登るだけで息切れをするので上階は空気が薄いのだらうと言いつつ聞かせ、少し運動するだけで体が痛くなり逆に不健康な気がする今日この頃。早くなっていく時の流れとともに歳をとったなと実感する毎日です。これも全て加齢の影響であろうと言いたいところですが、本当はだらしない自業自得の結果です。わかってはいますが毎年自分を変えることなく過ぎていきます。時間の経過が早くなっていくので対応できないわけではなく、ただ気合いが足りないだけです。そんなことを考えているうちに次の年度がスタートします。先日、卒業生が勤務している施設を訪問しました。学生時代はおとなしく少し頼りない感じもありましたが、堂々とテキパキと働いている姿をみて、とても嬉しく感じました。在学生はいつでも変わらず若く、それに比べ我々はどんどん老いていきますが、未来の医療人を世に出す喜びを感じ、時代の流れに取り残されないよう気合いを入れ直していきたいと思えます。

卒業生の皆様、おめでとうございました!まだ社会人としてスタートに立った段階です。あっという間に時は過ぎていきますので、若いうちにさまざまなことにチャレンジして、より成長してってください!

(K.K記)

## ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.184

STAFF ● 平野 剛 町田 拓自 志茂 剛 飯嶋 雅弘  
内ヶ 昌伸也 奥田かおり 鈴木 和 青藤 恵一  
福田 実奈 大須田祐亮 山田 桃子 葛西 聡子  
近藤 啓 高橋 祐輔 秋元 奈美 三川 清輝  
小林 昭博 土橋 幸

発行日 ● 2025年3月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課  
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757  
TEL: 0133-22-2113  
<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/>

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。  
E-mail: [nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp](mailto:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp)



■北海道医療大学の教育理念  
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。